

## 天文語「一」行「辭典

- 錨** 星 我が國の讃岐地方でカシオペヤ星座を呼ぶ俗稱。  
**イタリヤ** Italia ロマ, ナポリ, フィレンツェ, トリノ, ミラノ等に天文臺あり。  
**位置角** 地球上の或る大圓と時圈との間に挟まれる角。  
**イデラ** | L. Ideler 獨逸の天文史家。  
**イデルソン** Idelson 露國レニングラード天文研究所, 計算部長  
**緯度** 度 赤道からの角距離  
**地心緯度** 地球の中心で測る緯度。實際觀測は出来ないが, 算出し得。  
**地表緯度** 地球の表面で測る緯度。  
**地理緯度** 地理學上の緯度。  
**測地緯度** 地表の測量(例へば, 三角測量など)によつて決定される緯度。  
**天文緯度** 天體觀測によつて決定される緯度。  
**緯度觀測所** 岩手縣水澤町其他世界數ヶ所にあり, 協同觀測す。  
**緯度の變化** 地軸の變動による緯度の變化。  
**イトリウム** 第39番の化學元素, Y. 原子量88.7太陽中にあり。  
**イ | シン** Y-hsing 支那の唐の天文僧一行〔其の條を見よ〕。  
**イ | ストン** C. Easton 和蘭の天文家。1898年來, 銀河系は一つの渦形星霧なりと主唱。  
**池田昌意** 江戸の曆算家 春海以前に貞享曆を創意す。用ひられず。  
**石坂常賢** 天文家, 1818年<sub>L</sub>分度星圖<sup>7</sup>を作る。  
**イソスタシ** | Isostasy 地殼の壓力が地下一定の所で過不足相償ひ平均してゐるとの説。  
**稻葉通義** 理學士, 京都花山天文臺員, 昭和4年京大卒(1904—)  
**戌** 十二支の第十一番, 新城博士によればオリオン星座の文字化。  
**犬星座** 天には三つの犬星座があるが, 主には大犬星座を言ふ。  
**犬星** 大犬座の星即ち<sub>L</sub>シリウス<sup>7</sup>を言ふ。  
**伊能忠敬** 測地學者。日本全國を測量, 製圖す。(1750—1820)  
**井上四郎** 東京三鷹天文臺助手 1932年退官(1872—)  
**亥の日** 日本舊曆の十月の初亥の日, 古昔, 病を拂ふため餅を食つた。  
**磯永孫四郎** 薩摩の曆學者1763年の日食を豫言す。  
**射場天文臺** 神戸市射場氏經營。1930年創立。  
**イブンユニス** Ibn Junis 中世エジプトの天文家, ハケム表を作る(950—1008)  
**居待ちの月** 日本舊曆の毎月十八日の月。  
**入相** 日没のこと。  
**イリス** Iris 古代ギリシヤの虹の神。又, 第7小遊星 1847年ハインド發見。  
**イリス灣** Sidus Iridum 月面のインブロス海北岸の圓弧形の灣, 徑100軒。  
**イリヂウム** Iridium 第77番化學元素 原子量193.1天體スペクトル中には無し。  
**イリニウム** 第61番の化學元素, 1924年來國イリノイ大學で發見。Il.

- イリノイ Illinois 大學天文臺. 米國イリノイ州ウルバナ市にあり.
- 入 り 日 西に没する太陽.
- 海 豚 座 トレミ1星座の一、鷲座の東隣、初秋の夕暮れ南中す.
- 色 温 度 星のスペクトル中の色の分布で定める其の表面の有効溫度.
- イルフォド Ilford 英國ロンドン市外の小邑、其所にイルフォド寫眞乾板會社がある.
- 色 ガ ラ ス 色付けられた硝子、寫眞暗室に用ひ又天體寫眞用スクリン等<sup>7</sup>に用ふ.
- 色 消 し 屈折により生ずる色を消すための裝置.
- 色消しレンズ 色消しのため凸凹二板のレンズを組み合はす.
- 色 指 數 恒星の色の差別. 普通は寫眞光度と眼視光度との差で表はす.
- 色 收 差 レンズの色消し不充分のため現はれる殘色.
- 色 寫 眞 特殊な光波を用ひて撮る寫眞.
- イワノフ Ivanoff ロシヤの天文家 1923—1930年間ブルコワ天文臺長. 其後追放
- イワノ井子 Ivanowitch ロシヤの天文家.
- 陰 陽 陽の反對、物のかげ、消極的、くらやみ等の意.
- 陰 極 電氣や磁石の陰の極.
- 陰 性 陰の性質.
- 陰 畫 寫眞乾板に表はれてゐるまゝの畫. 凡て陰陽反對に表はる.
- 陰 極 線 眞空放電の際、陰極から發射する電子流.
- インクリネ | シオン Inclination 傾斜角. (軌道面の位置など表はす語)
- 引 數 Argument 或る數を求めるための他の數値、<sup>7</sup>近日點引數<sup>7</sup>など.
- 因 數 Factor 一部分又は原因となる數.
- 隕 石 天空より落下する礦石、流星の特殊のもの. 全世界に約1000あり.
- 隕 鐵 隕石の一種で、鐵を主成分とす、世界最大のものは重さ100噸.
- イ ン チ Inch 英國の尺度、2.540<sup>7</sup>に當る、日本の8寸4分弱.
- インヂウム Indium 第49番の化學元素原子量114.8 天體スペクトル中に在り.
- インド人座 Indus 秋の夕暮れに南中する星座. 日本内地からは見えない.
- インドの天文学 三千年前から起り、バビロン、ペルシヤ、支那等と交渉あり.
- イ ン ド ラ Indra インドの神. 天地宇宙を司配す.
- インブロス海 Mare Imbrium 月面北部にある大海.
- 陰 陽 二元論的な對稱的な言語.
- 陰 陽 曆 太陽の運行と月の運動とを共に考慮した曆. 例は日本の舊曆.
- 陰 陽 歲 差 太陽と月との引力のために地軸變動し、春分點が西進すること.
- 陰 陽 五 行 說 古代支那に起つた宇宙哲學說、萬物の根源を木火土金水とす.
- 陰 陽 道 陰陽五行說に立脚する一種の宗教哲學.
- 陰 陽 の 會 陰陽說に言ふ上吉の辰、陰と陽との會合する日を言ふ.
- 陰 曆 嚴密には月の運行のみによる曆、例マホメト曆、又<sup>7</sup>陰陽曆<sup>7</sup>.
- 引 力 壓力に反し、物の相ひ引く力. 例へば=ウツンの萬有引力.